

PF工法



特長・ポイント

PF工法に使用するジオテキスタイルの特徴

- ジオグリッドは高強度・低伸度を使用(土木研究センター審査証明取得)
- 引張特性は4~6%の伸度で最大強度を発揮するジオグリッドを使用。
- 土を強かに拘束し、緩勾配盛土から急勾配盛土までフルサポート。

機能性

- 緩勾配から急勾配(直壁)まで、任意な角度で壁面を構築。
- 工場にて生産・管理されたPCフレームは、緑化仕様・防草仕様・複合仕様が選択できるようなシステム化。

施工性

- フレーム重量が140kg/m²と軽量。
- 新開発ピンブッシュジョイント方式により、フレームの自立性とたわみ追従性を両立でき、支保工・足場等が不要。

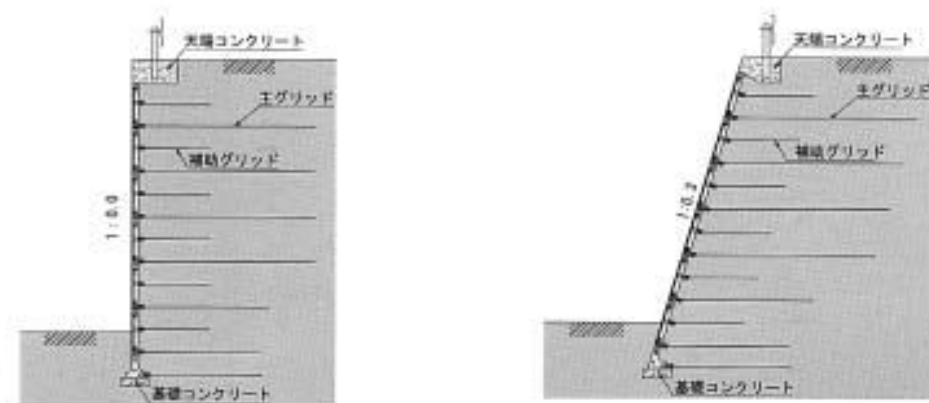
環境

- 植生した場合、緑化率60%を達成。
- 面状補強材であるPF工法は、帯状・棒状補強材を用いた補強土擁壁に比べ、適用できる土質範囲が広がる為、現地発生土の利用頻度が高い。

比較

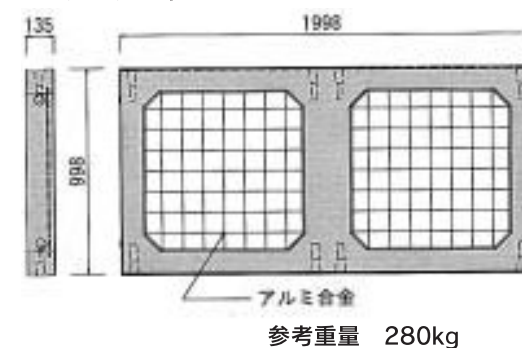
- 従来の溶接金網等と比べ、設計に対する出来高が極めて正確。
- 従来の溶接金網等と比べ、高耐蝕。

標準施工断面

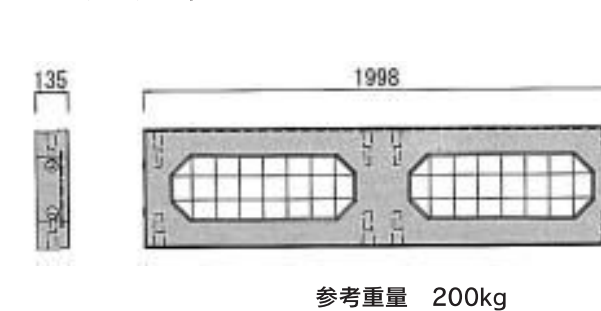


製品寸法図

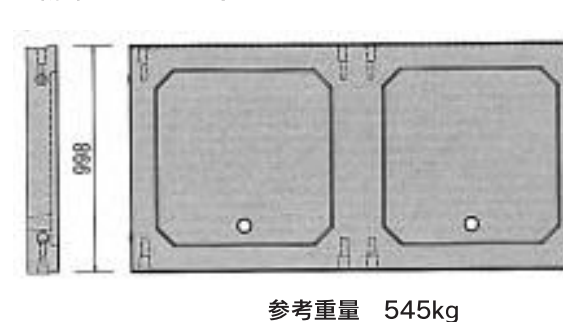
■スタンダード



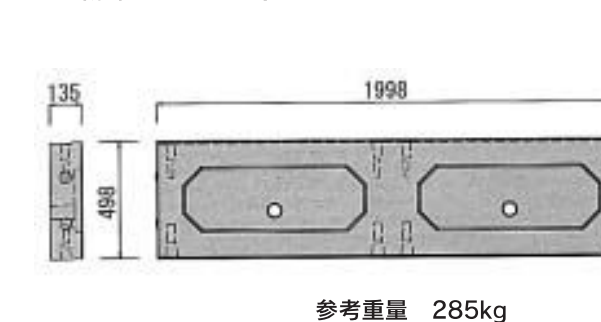
■スタンダード1/2



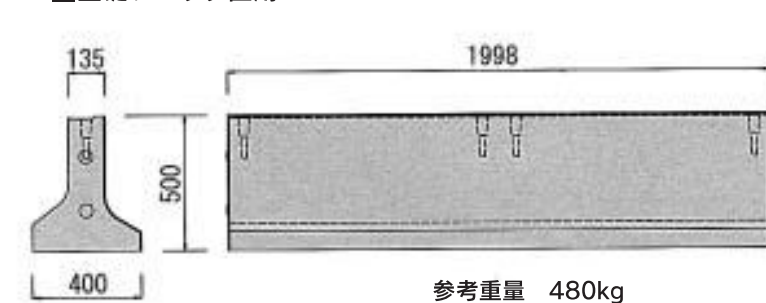
■防草スタンダード



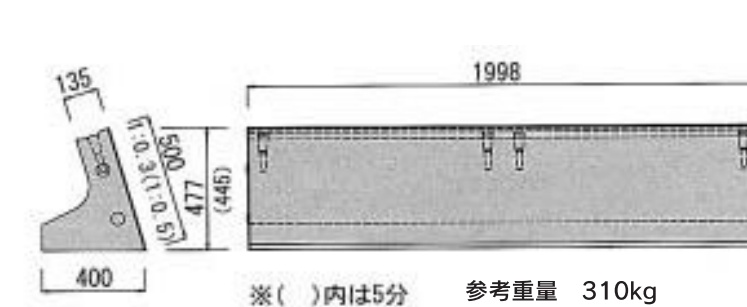
■防草スタンダード1/2



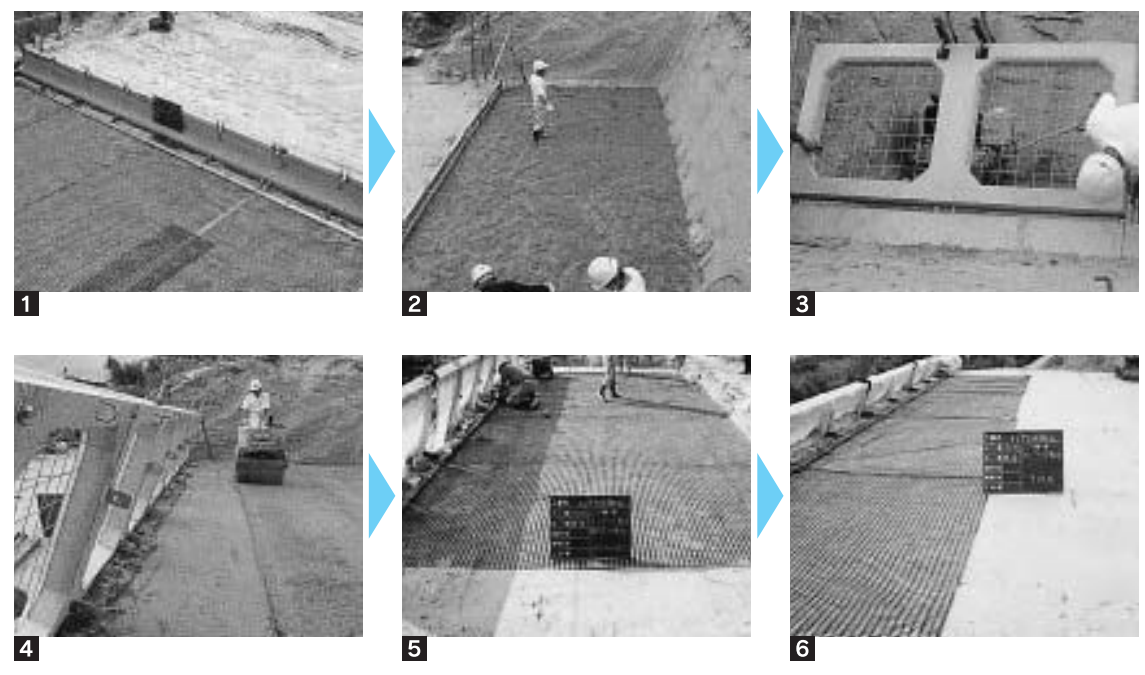
■基礎ブロック直用



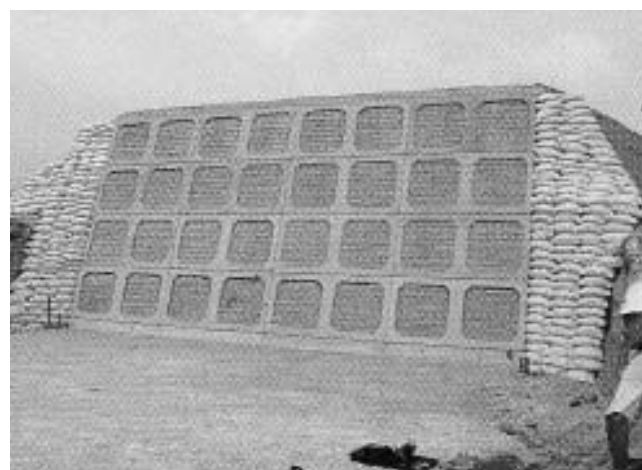
■基礎ブロック3分・5分用



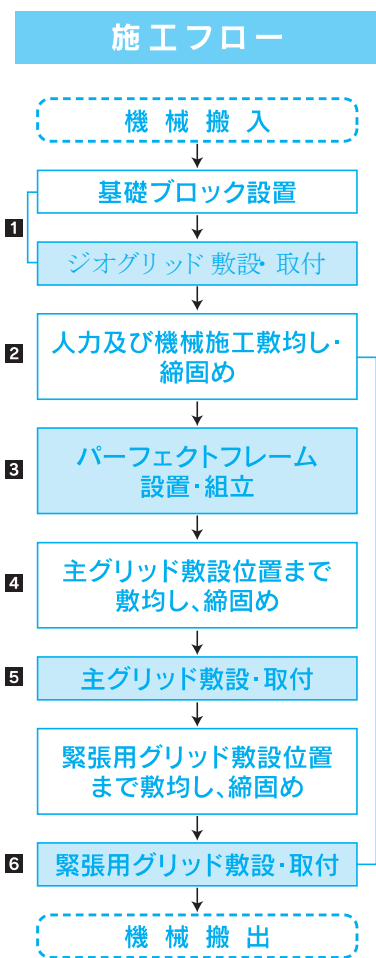
● 施工手順



天端仕上げ



完成



● 施工写真

